

“美貌”と“健康”を望み通りに手にする方法

57. “人間は病気になる”という迷信とは手を切る！

病気の時、神があなたを愛し守ってくれる、と確信することは、効き目のある治療法です。

医療がこれだけ進歩しているのに、病気も病人も増えているのは、視点を変えると当然とも思えてきます。なぜなら今日、多くの人は「人間は病気になるもの」と思っているからです。

マーフィー博士は病気について、次のような感想を述べています。「肉体の病気、精神の変調、こういうものはあなたの中の永遠で完全に純粋な神に決して属さないものであることを忘れてはなりません」

マーフィー博士の言葉と逆の認識を持っている人がいかに多いことでしょう。医学の進歩は治療法の進歩を促しましたが、多くの人が忘れがちなことは、原因そのものを絶つ試みはほとんどなされていないということです。

たとえば、ガンの原因はストレスが最大の要因であることがわかっています。しかし、現代人はストレスをなくすことに、どれだけ意を注いでいるでしょうか。むしろストレスが増えるようなことばかりしています。

「ただ一つの治療する存在と力を信じなさい。静かに愛を込めて、治療する存在を高め、癒し、力を与える能力があなたの中を流れていることを肯定しなさい。このはっきりした認識を持てば、傷ついた心や病気に侵された状態は愛の光の中に溶けてしまいます」

マーフィー博士を初老の男性が訪れ、自分が奇妙な病気にかかっていることを告げました。

「私は悪魔に取りつかれています。その悪魔は私に泥酔することをそそのかすのです。私はこの三年、この悪魔と戦ってきました」

彼は病気で治療を受けましたが治らないため博士に相談に来たのです。男性の話から、博士は病気の原因を彼の妻にあると見ました。妻は別の男と駆け落ちしてしまっていたのです。彼は妻への怒りと憎悪のため、泥酔を習慣にしていたのです。

つまり悪魔などは実在せず、彼の潜在意識がそう語りかけていただけなのです。マーフィー博士はそのことを説明し、彼に妻を祝福し、なおかつ彼の意識から解き放してやることを勧めました。彼がそれを実行すると、たちまち奇妙な病気は治りました。愛による癒し療法は、どんな病気にも効果的なのです。
